

[09_01]情報処理教育広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/6768427>

出版情報：情報処理教育広報. 9 (1), 1986-06. Educational Center For Information Processing,
Kyushu University

バージョン：

権利関係：



編 集 後 記

◇ センターの5階と6階に別れていた事務室と受付を5階の元事務室に統合しました。これまで受付や事務室に職員がいないため利用者の方々に何かとご迷惑をおかけしたこともあろうかと思えます。今回の模様替えで受付と事務を担当する職員が一部屋にまとまりました。その結果、例えば誰かが休んだり、たまたま部屋にいらなくても他の職員が代りに応対することが可能になります。これでセンターと利用者との意思の疎通が少しでも円滑に行くようになれば幸いです。

他大学の情報処理教育センターでは数年前から利用者数やジョブ件数の伸びが鈍化して来ていましたが、九州大学情報処理教育センターでも昨年からの傾向が見られるようになりました。その理由はパソコンの普及などいろいろあるようですが、学生の利用の仕方にも顕著な特徴が現われています。すなわちレポートを提出するときに他人が作成したプログラムやデータのリストを参考にしながら入力し、あっという間にレポート提出用の結果を作成する学生もいるようです。そういう意味では計算機システムの使い方がこの3年間で大変上手になったと言えます。学生の関心を引くには現在主として行われているプログラミング言語の学習とそれに伴うプログラムの作成・実行だけではなく、もっと別な計算機システムの使用方法を教えることも大切なのではないかと思います。

工学部や理学部の利用者はFORTRANなどのプログラミング言語を勉強し、自分でプログラムを作成することにそれほど抵抗がないようですが、ほかの学部、例えば文科系や医歯薬系の利用者はそうでもなさそうです。最近の計算機システムで出来ることは単純な数値計算だけではありません。日本語処理、図形処理、統計データ解析、電子メールの交換など多種多様なことが出来るようになって来ています。情報処理教育とは何かという問題に対して現時点では明確な解答はないように思いますが、何もかも自分でプログラムを作成するのではなく、既存の応用プログラムを利用してもっと楽に仕事をする術を身に付けてもよいのではないかと思います。

そういう観点からセンターでは日本語処理、図形処理、統計データ解析などのための応用プログラムをもっと積極的に提供すべきであるとこれまでずっと考えていました。こうしたソフトウェアは数年前から利用可能になっていましたが、日本語や図形の表示など端末の機能上の問題、全利用者に新しいソフトウェアを開放するために必要な計算機システムの処理能力の問題などのためにこれまで実現できませんでした。そこで富士通と交渉した結果、昭和61年10月に現システムの機能強化というかたちで実現できる運びとなりました。今回の機能強化を契機に計算機システムをこれまでとは別な新しい使い方で使用できる利用者が増加することを希望しています。

(N. F)

◇ FLIST、MLISTコマンドの解説はいかがでしたか？

この広報は富士通のODM (Office Document Manager) という大型計算機用のワードプロセッサによって入力され、日本語ラインプリンタの出力を原版としています。

10月の機種増強によって皆さんも身近なワープロとして使えるようになる予定です。住所録やサ

ークル機関紙など用途はさまざまです。学生のレポートもODMの電子メールによって提出するようになるかもしれません。

いままで計算機嫌いで落ちこぼれていた人も、キーボードをたたくのが苦手な人も、計算するだけでない計算機の利用によって、慣れ親しんでくれると思います。

(M. E)

◇ さわやかな風が吹き、緑が目にしみる良い季節となりました。情報処理教育センターに来てはや2カ月になろうとしています。毎日を期待と不安のいりまじった気持ちで迎え、慣れないことが多いため何でも質問しては先輩を困らせている日々です。

学生時代は柔軟性を養うことを第一の目標にしていたので、新しい時代を迎える期待や希望や不安にどうつきあっていくかを悩むことは少なかったのです。しかし、柔軟性だけでは充分でなく、そこに自分らしさを芯のようにもってはじめて新しい時代を生き抜くことができるのではないかと思います。

価値判断の多様化する時代の中で自分を失わずに大人になること、自分を失わずに生きることが難しくなってきたのではないかと思います。

行き届きませんが、よろしくお願いします。

(K. I)

◇ 小・中・高・大学の卒業、そして退職。また一つの区切りを迎えました。

最後の仕事が広報編集の引き継ぎになりました。引き継ぎの期間が短かったので、後任の方にとってはばたばたと忙しくなってしまうと、申し訳なく思っています。その方は、本や花や猫が好きな、笑顔の素敵な女性です。学生時代はコンピュータが専門だったし、文を書くことも得意なので、広報もより充実した内容になると思います。

退職した後のことは、いまだ白紙の状態です。6月から先がすかっと真白で、今からいろんな色をつけていこうと楽しみにしています。

本当に長い間色々ありがとうございました。

(Y. I)

広報の配布を希望される方は、

・氏名 ・職名 ・所属 ・送先 ・電話番号

を記して

〒812 福岡市東区箱崎6-10-1

九州大学情報処理教育センター

電話(092)641-1101 内線2656

まで申し込みください。残り部数によりお送りできない場合があることをお含みください。